



CASE  
1

## 大切な“食”をナビゲート

[食naviステーション | <http://www.snavi-st.com>]

〒010-8572 秋田県秋田市山王 3-1-1 秋田県庁第二庁舎 3F / TEL. 070-5320-1423 · FAX. 018-833-1423  
E-mail: syokunavistation@gmail.com

「つくる・食べる  
を応援します」と  
木村まゆみさん



### 介護食品と6次産業化の融合を目指す

#### 秋田の食材を使った商品づくりをプランニング

管理栄養士で、6次産業化プランナーでもある木村まゆみさんが代表を務める「食naviステーション」は、平成27年創業。秋田県内の企業や組織を対象にした「新商品プロデュース」と、高齢化社会に対応する「健康な食事・介護食品の提供」を軸に活動を行っている。

木村さんは、食品製造会社で食品開発と品質管理業務に携わった経験を活かし、衛生管理と商品開発のアドバイザーとして活躍。秋田県6次産業化プランナーに就任後は、農家の商品づくりのサポートにも力を入れている。「消費者ニーズに合わせた商品づくりや、従業員教育を含めた衛生管理面を重視しています」と木村さん。昨年からは同センターの創業支援室を利用しており、「センターの登録専門家になってからは、企業をまわることも増え、それがネットワークづくりに役立っています」と話してくれた。

6次産業化プランナーとして、秋田の安全安心な農作物を使った商品開発は、食naviステーションの今後の活動にとっても大きな可能性を秘めているという。

### 介護&健康維持食品をライフワークに

食naviステーションの創業理念の一つが「介護食品・健康維持に役立つ食品の販売」。高齢化が進む中、「きちんと噛んで食べる食事」を守りたいと考えている。そのためにその人の健康状態や嗜好に合わせた介護食品を届ける業務も行っている。「ネット等の通販で簡単に買えますが、“味が分からない”、“大量買いが基本”等の制約もあります。私たちは最初にカウンセリングを行い、一人一人に合わせた商品をお届けします」と木村さん。

商品開発アドバイザー・6次産業化プランナーとして軌道に乗り出した木村さんが描く未来予想図は、秋田の食材を使って作る介護食品のプロデュース。「道は遠いかもしれないけれど、この目標に向かっていきたい」と意気込みを語ってくれた。



- A ミンチして再形成した豚肉と付け合せの野菜等。お年寄りでも、噛んで食べることができる
- B 飲み物にとろみを付けることで誤嚥を防ぐ商品なども揃う
- C カウンセリング中の木村さん

#### 事業概要 創業支援室

創業や新事業分野進出を目指す意欲的な企業等に、事務スペースを提供します。秋田県よろず支援拠点等への日常的な経営相談が可能です。

お問い合わせ あきた企業活性化センター／総合相談課  
(018-860-5610)まで。